

## 【保護者の方に知っていただきたいこと】

### ■ ロタウイルス感染症とは？

ロタウイルスによる胃腸炎は、急激な嘔吐と水溶性の下痢便を頻繁に排泄し、発熱が3割～5割程度みられます。ロタウイルス感染症により世界では5歳未満の小児が年間約50万人死亡しているとされ、その80%以上が発展途上国で発生しています。先進国では死亡例は少ないですが、嘔吐・下痢に伴う脱水やけいれん、腎不全、脳症などの合併症のため入院治療に至るケースがあります。重症急性胃腸炎で入院する原因としてロタウイルスが最も多いと言われていています。

### ■ ロタウイルスワクチンとは？

ヒトロタウイルスを弱毒化した1価弱毒生ワクチンとウシーヒトロタウイルスのリアソータント5価生ワクチンがあります。いずれのワクチンも、ロタウイルスG1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に対する予防効果が示唆されています。他のウイルスに起因する胃腸炎を予防することはできません。

### ■ 副反応(腸重積症)とは？

腸の一部が他の部分に入り込んでしまう、緊急性の高い病気です。ワクチン接種の有無にかかわらず、0歳のお子様がかかることが多い病気です。ロタウイルスワクチン接種後に腸重積症のリスクが少し上がる可能性があるとしてされています。

ロタウイルスワクチン接種後、特に初回接種1週間以内に、腸重積症状(ぐったりする、顔色が悪い、繰り返し起こる嘔吐、繰り返す不機嫌、血便、お腹の張り)が見られた場合は、速やかに医師の診察を受けるようにしてください。

### ■ ワクチンを接種するときのポイント

ロタウイルスワクチンは液体で、経口による接種を行う「飲む」ワクチンです。

上手にワクチンが飲めなかったり、吐き戻したりする可能性があるため、接種前30分ほどは授乳を控えることをおすすめします。

### ■ 接種後の注意

- ・ロタウイルスワクチン接種後1週間程度は便中にウイルスが排泄されますが、排泄されたウイルスによって胃腸炎を発症する可能性は低いとされています。念のために、おむつ交換後などワクチン接種を受けたお子様と接した際には手洗いをするなど注意してください。特にご家族の中で免疫系に異常がある方がいる場合には、注意してください。